



PRESS RELEASE 2022年12月12日

東京芸術祭実行委員会

国際舞台芸術祭「東京芸術祭 2022」閉幕
「ひらく」「きわめる」「つながる」をテーマに
豊島区池袋エリアから多様な表現を発信



2022年9月1日（木）より102日間にわたり開催してきた「東京芸術祭 2022」が12月11日（日）に閉幕いたしました。

「ひらく」「きわめる」「つながる」をテーマに、演劇やダンス、アートプロジェクト、映像配信、人材育成事業など、全36のプログラムが豊島区池袋エリアを中心に実施され、来場・参加者数約40,143名、オンラインプログラム5,025リーチ※1と、たくさんの方にお楽しみいただきました※2。

今年度は「この秋、観劇デビューしない？」を合言葉に、ワンコイン（500円）で気軽にハイクオリティな観劇を体験できる野外劇や国内外で注目を集める舞台作品、まちを舞台に繰り広げるアートプログラム、オンライン・オフラインを併用した国際的な人材育成プログラムと幅広い事業を実施しました。

東京芸術祭は、今後も東京の文化の魅力をわかりやすく見せると同時に東京における芸術文化の創造力を高めることを目指し、社会課題の解決や人づくり、都市づくり、そしてグローバル化への対応を視野に入れ、事業を展開していきます。引き続きのご支援を何卒よろしく願います。

※1：オンラインプログラムに関するリーチ数は、視聴者数・視聴再生回数を積算した数値。

※2：本公表数値は、2022年12月10日（土）23時59分時点における暫定数値です。

●東京芸術祭実行委員会 委員長 近藤誠一コメント

東京芸術祭 閉幕のごあいさつ

2022年の「東京芸術祭」は、9月1日より12月11日までの102日間にわたり開催いたしました。

鶴屋南北の「桜姫東文章」をもとにルーマニアで作られた「スカーレット・プリンセス」、タイからの「An Imperial Sake Cup and I — 恩賜の盃と私」、野外公演「嵐が丘」や35回を迎えた「としま能の会」また生誕400年を迎えたモリエールの作品「守銭奴 ザ・マネー・クレージー」と多彩なプログラムを提供いたしました。

国内若手の公演・豊島区内の街中プロジェクト・アジア諸国から来日したアーティストを迎えての共同作業など無事に全ての事業を終えることができました。

2022年の東京芸術祭の開催にあたってご尽力いただきました皆様に心より厚く御礼申し上げます。

今後とも「東京芸術祭」へのご支援、ご鞭撻よろしく願いいたします。

東京芸術祭実行委員会委員長 近藤誠一

●東京芸術祭ディレクター 宮城聡コメント

この一年間痛感させられたのは「日本人はバブル崩壊以後、自分の人生を何に使えばいいかわからなくなっているのではないか」ということでした。

バブル期までは、多くの日本人が「豊かになるために働くのだ」と考えていたでしょう。豊かになれば、いろいろといいことがある。なので人生を「豊かになること」に使えば、結果としていろいろと報いられる、と。

しかしこれは、個々人が自分で選択した人生の目的ではありませんでした。いわば「いつのまにか国が（上から）決めてくれた」人生の過ごし方です。そしてそれは、日本が近代国家となって以来、ずっと続いていたことでした。

バブル崩壊は、すでに30年も前のことです。しかしどうやらこの30年間、日本では「なんのために生きるのか、人生の使い道をおのおのが自分で選ぶ」とはならなかった、という

ことが、コロナ禍以後に明らかになったように感じました。「上が決めてくれないので、周りに合わせていた」のかもしれませんが。

この先、この国に住む人々が自己肯定感を持って生きるためには、自分の人生を何に使うかを自分で選ぶことがいちばんのポイントになるのではないのでしょうか。そして、多くの市民にとって、(例えばテレビでしか見られない特別な存在ではなく、)自分の身近に、人生を何に使うかを自分で選んだ人がいる、ということが励ましになるのではないのでしょうか。

これはつまり、アーティストが、それもエスタブリッシュされた成功者ではなく、若く多様な、成長過程の途上にいるアーティストが、市民のただなかに入って思い思いの活動をしていることこそ、市民の活性化(そして社会の安定化)につながるということだと思います。

東京芸術祭は、そのような、あるべき近未来の東京のイメージに向かって、微力ながらも歩を進めているところです。まだまだ緒についたばかりですが、東京芸術祭の活動にこれからも関心を寄せていただければ幸いです。

東京芸術祭ディレクター 宮城 聡

■東京芸術祭 2022 開催概要

名称：東京芸術祭 2022

会期：2022（令和4）年9月1日（木）～12月11日（日）

会場：東京芸術劇場、GLOBAL RING THEATRE（池袋西口公園野外劇場）、
豊島区立芸術文化劇場（東京建物 Brillia HALL）ほか東京・豊島区池袋エリア

主催：東京芸術祭実行委員会〔豊島区、公益財団法人としま未来文化財団、
公益財団法人東京都歴史文化財団（東京芸術劇場・アーツカウンシル東京）、東京都〕

助成：令和4年度 文化庁 国際文化芸術発信拠点形成事業

協賛：アサヒグループジャパン株式会社

主催



助成



令和4年度 文化庁
国際文化芸術発信拠点形成事業

協賛

アサヒグループジャパン株式会社

■事業に関するお問い合わせ

東京芸術祭実行委員会事務局 TEL:050-1746-0996 (平日 10:00~18:00)

■広報に関するお問い合わせ

東京芸術祭実行委員会事務局広報 E-mail:press@tokyo-festival.jp TEL:050-1751-9480 (平日 10:00~18:00)